

第 16 回 向陽学府小中一体校開校準備委員会 会議概要

1	開催日時	令和 7 年 5 月 26 日 (月)
2	開催場所	磐田市役所西庁舎 3 階 302～303 会議室
3	出席者 (向陽学府小中一体校開校準備委員)	
	学識経験者	元校長 元向笠地区長
	地区代表	向笠地区長 大藤地区長 岩田地区長
	保護者代表	向陽中学校 P T A 代表者 大藤小学校 P T A 代表者 向笠小学校 P T A 代表者 大藤こども園 P T A 代表者 向笠幼稚園 P T A 代表者
	学校代表	向陽中学校長 大藤小学校長 向笠小学校長 岩田小学校長
4	出席職員	教育長
5	事務局	学校づくり整備課学府一体校グループ長 ほか 2 名

会議概要

1 教育長挨拶

皆さん改めましてこんばんは。お忙しい中、ご出席頂きまして本当にありがとうございます。

委員会として、今回第 16 回になるわけですが、令和 4 年 10 月に第 1 回目を開催いたしました。当初からご参加いただいている委員の皆様、昨年度からの方もいらっしゃいますし今年度初めての方もいらっしゃいます。また、それぞれ今までの経緯は、それぞれだと思えます。それぞれの立場から、ぜひご意見を頂ければなと思えますので、どうぞよろしくお願ひします。

向陽学府一体校の話が平成 30 年から私も関わらせていただきながら、地域の中での説明会を開始させていただいた。そのあと、向陽学府で小中一体校をと流れの中で、いわゆる新たな学校づくり検討会ですとか、建設検討会ですとか、また地域の皆様と一緒にさせていただいたワークショップですとか、本当に今まで長い年月の中で、地域の皆様方のお力をお借りしながら、今日に至っているなど本当に改めて感謝申し上げます。本当にありがとうございます。いよいよ向陽学府一体校が、令和 8 年 4 月開校ということで、残り 1 年を切りました。ワークショップ等で掲げた「日本一優しさが育つ学校」を地区の皆様方は本当に子供たちとの関わりやつながりを大事にさせていただいて、いろんな教育活動、情操面も、学習の面でも、学びの場を提供していただいています。そういう地域

の中で、小学校、中学校が一つの学校になって、またそこに小中学生のつながりももっと深めていけるという学校が来年4月にスタートするっていうことを、本当に私たちも楽しみにしています。ただ、一方で、未来型学府一体校と言っているのですけれども、1つの小学校と1つの中学校が1つの建物の中に入って学府全体で一体校になるっていうのが、磐田市内で初めての学校になります。もっと言えば今まで、磐田市内でこういう経験値を持っているものがないっていう中で、校章をどうするのか、校歌をどうするのか、いろいろ話し合いを重ねて今日に至っているところです。まだまだこの後、担当のほうからスケジュール等を説明させていただきますけれども、いわゆるながふじ学府では検討しなかったことも、今後、向陽学府の中では、いろいろ検討していただくことができてきます。また一方で大きいのは、153年とか133年という学校の歴史を閉じるということも、明治の頃から学校がずっと地域のシンボルとして、地域の核となって進めてきた地域づくりにも大きな影響を及ぼすのじゃないかなっていうところで、学校が閉じるっていうところも大きなことだと改めて感じているところです。本当に経験をしたこともないようなところを、いわゆる今の言葉で言うと最適解というか、皆さんで知恵を出し合っていたら、皆さんで意見交換をしていただいて皆さんで対話をしていただいて、今日に至っているっていうことをありがたく思います。残り1年を切ったというところで、まだまだ通学の安心安全ですとか、いろいろ課題等もありますので、そういったことも含めて、また、今後も皆さんと協議対応しながら、令和8年4月の本当にいいスタートが切れるように、皆さんに期待していただけるような学校になるように、私自身も一生懸命進めていきたいと思っています。ぜひ、皆様方のお力添えを頂きながら、市長がよく「共創」という言葉を使われていますけれども、一緒につくっていただきたいと思います。皆様方のお力をぜひお貸し頂けたらと思います。

長くなりましたけれども、1年間どうぞよろしく願いいたします。

2 委嘱状交付

(新任委員へ委嘱状を交付)

3 自己紹介

互選より正副委員長を選出。各自自己紹介。

4 議事

(委員長)

それでは議事に入りたいと思います。これまでの進捗状況と今後のスケジュールについて、まず、事務局から説明を頂いて、御意見等をお伺いしたい。よろしくお願いします。

(事務局)

資料を御覧ください。令和8年度からこの開校準備委員会が開催されておりますけれども、もともと検討委員会であったり、地域の会合が平成の時代から続いているところで

す。この開校準備委員会でこの3年間の中で決められてきたこと、今年度から委員をされている方もいらっしゃると思いますので、確認をさせていただき中で、最後に不明な点とかがあれば出していただきながら、令和8年の開校に向かっていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

まず①開校準備委員会ですけれども、基本的に2か月に1回予定をしております。開校準備委員会の役割としては、大きくは、開校に向けた協議をさせていただき、そして皆様の意見を吸い上げていくということとといったいろいろな役割を担っているかと思っております。開校に向けた建設的な意見を皆様と一緒に出し合う中で、令和8年4月に向かっていけるように、そして今年度令和7年についても、本日5月をスタートに2か月に1回でございますが、8月とそして2月にはまたちょっと違った、開校に向けての見学会もでございます。また後で少し触れたいと思っておりますけれども、2月14日には竣工式、建物の建築が1月末に終わりますので、内覧会も含めた竣工式を2月14日に予定をしております。そして令和8年4月4日ですけれども開校式を予定しております。そういったスケジュールをお伝えさせていただいて、今までの状況についてお伝えをしたいと思っております。

まず②校名の検討というところですが、以前の開校準備だよりをご覧いただきながら、御確認頂ければと思います。先ほどもありましたけれども、磐田市で3小学校が幕を閉じ一つの学校になっていくというところで、学校名から決定をしていくというところです。なかなか学校の名前一つとってもどういった学校名が良いのか。それぞれの地域の思いとか願いはありますので、一筋縄ではいかないところがありましたけれども、「磐田市立向陽小学校」そして、向陽中学校は引き続き「向陽中学校」として、新しい一歩を歩んでいきます。まずは校名が、令和5年の3月に議会で議決されたということで決定されたということになります。

そして③校章と校歌になります。校歌についても、決定した内容としては向陽中学校の校歌を、向陽学府小中一体校の校歌として、小学生も中学生も歌っていくということで決定しております。まずは向陽中学校の校歌で、そのあとに向陽小学校としての校歌をつくるのもいいのではないかと、そんなアイデアも議論の中では頂いておりますけれども、そういったところは令和8年に開校していく中で、どんどん学校を中心に子供を中心に新しい学校がつくられていくという、未来に向かっていくというところを描いております。そして校章ですけれども、昨年度、向陽中学校の生徒から頂いた御意見をもとに、一体校の校章が決定をいたしました。向陽という黄色の文字ですけれども、これは今の向陽中学校の校章を生かしております。中心にある少し難しい「學」と言う字ですね、こちらも今ある字を生かしています。エンジ色になっています。エンジ色は向陽中学校のスクールカラーということになっています。そして、周りの花はコスモスの花を9枚表現したものです。9枚というのはもう御存じのとおり9学年、学年が1枚1枚つなぎあって向陽学府小中一体校、そういった願いを込めた校章が昨年、生徒の皆さんのアイデアをもとにこの委員会の中でつくっていただきました。

続きまして④通学路に関するところですが、通学路に関するところについては令和4年

令和5年に新しい一体校となったときの規制をかけるところですね、横断歩道や信号の規制をかけるところ、そういったところを昨年ちょうどこの時期に警察のほうに協議しました。ただ、この後ですね、現在の通学路、通学方法も含めて、今と同じような通学路、改修や見直しというところは今後も続いていくかと思います。新しい学校になったからといって、通学路がなくなるわけではありませんし、新たな通学路となっていくところもありますので、またこちらについては学校教育課と併せてですね、道路河川課とも連携をしながら、通学路の安全面というところは対応します。

⑤PTAの組織運営に関するところですが、こちらについては、学校のほうでかなり中心に進めていただいております。もし今のPTA組織のところで補足されるところがあればと思いますけれども、いかがでしょうか。

(委員)

ある程度、役員の決め方とか共通理解をそれぞれ図ってきました。今候補となる人たちが決まったというところですね。規約については、たたき台をつくって、その検討中というところですね。

(事務局)

ありがとうございます。

⑥式典行事に関するところで、今回は小学校の幕を閉じるということで、開校と同時に閉校についても、地域学校を中心に話を進めていただいております。もしよろしければ、現在の閉校に向けた式典の行事に関する何か進捗状況等、各地域、学校のほうからお聞かせ願えればと思います。

(委員長)

向笠は、地域づくり協議会の中に向笠小学校閉校行事実行委員会を去年から立ち上げて、自治会長とか地域代表とか先生方、23人の委員で検討して最終年度の2年目になりました。簡単に言うと、記念誌の発行。閉校の記念式典。あと地域の大きな文化行事、ふれあい祭りというのが11月にあるので、これは地域づくり協議会が主催をするのですが、そこに今年で小学校が最後ということで、閉校に絡めた行事ができればいい。給食試食会を2学期の後半に数回、かつての給食を一度食べてみたいなっていうような地域の方がいらっしゃるかもしれませんので、じゃあやろうとなった。簡単に言うとそんなところですね。

(委員)

岩田地区は、突然言われたもので準備してきませんでしたが、皆さんで閉校式典を来年の3月14日土曜日10時から行う予定のスケジュールをつくってありまして、それまでに今、記念誌の作成をしております。約40ページの今までの歴代の校長先生から卒業生の写真を入れたりして、編集委員を募って、業者の最後の見積りが出てきて、またそれでも納め切れない。動画であったり、載せられなかった写真等は、DVDにして冊子につけてというので、一応これは全戸配布プラス、小学生全員、関係してくださった皆様に少しお分けする程度やっております。さらに記念品ということでオルゴールをつくる予定

をしまして、正面に学校の写真と校歌を載せて、これは小学生には全員プラス先生方、地域に対しては実費で注文をとるということで見積りを来月に回覧で注文取りながら、つくる手間があるものですから。記念誌のほうは最終10月頃に締め切って、閉校式典の3月14日に配るような予定をしております。式典の内容ですけど、小学生にいろいろやれるようお願いしてありまして、また子供たちも一緒に考えてくれているみたいです。向陽中校長にちょっとお願いしてありまして、限定することはないですけど小学校卒業した卒業生で歌でも歌ってくれないかねっつってお願いして、快く引受けてくださっています。子供たちが自分たちで考えて何かをしてくれるっていうのを今お願いしてあります。それは岩田小卒業生だけではなくてもいいとは思っているんですけどね。あまり学校のカリキュラムに負担かけるようなことはしたくないなど。約1時間半ぐらいですかね、体育館でやった後に、教室は使っている現状のまま残して黒板アートの部屋が二つあって、いたずら書きできる部屋が一つあってそれは黒板のそこだけです。それから、今まである卒業生の写真を展示してやってくださる。それは今ちょうど、学校を卒業した父兄の中で、有志を募ってやってもらうようにしています。あとグラウンドでは風揚げをしたりとか、キッチンカーを呼んだりとか、あんまりお祭りの様にするのもどうかとも言われていますので、考えながら、やっているところ、電気とか駐車場の問題はとかね。いっぱい来たら体育館狭くて入れないじゃないかっていろいろシミュレーションしています。

(委員)

大藤は3月13日の金曜日に閉校式典をします。閉校式典は10時半からということなので、子供たちが学校に来て、何か子供たちが考えたもの、子供たちの意見を吸い上げて、それをみんなで実現していこうっていう子供たちの育成も考えてそういうふうにしています。その式典が30分ぐらいあって、お昼までに帰らなきゃいけないので、第2部をどんなセレモニーをしようかっていうことで考えています。学校でやりますので、学校が使える予算の中で全部考えていくんですけど、年間を通して、今度空撮をしたりだとか、そういうものをこの6月に計画しています。それから運動会のときに、保護者も地域の方もぜひ来てくださいねということで投げかけをして、全員で上から写真を撮って、それを記念誌のせるとか、あとは子供たちが閉校に向けて、こういうのをしたいなとかっていう思いを吸い上げて、地域、保護者と一緒になって何かできるイベントを計画しようとか、そんなふうにして、年間を通して、それぞれの学期に1回ぐらいは閉校に向けたイベント取組をしていこうということで動いています。皆さんが今言われたように、記念誌もつくる予定でいます。地域の方に協力していただくのは、金曜日に子供たち主体でやるんですけども、ちょっとここどこ手が足りないよっていうところで手伝ってもらったりだとか、翌日は学校開放しようということで、そこは地域の方をお願いをして、どうやるかっていうのはこれからの話合いで決まってきます。

(事務局)

ありがとうございました。続いて⑦番のスクールバス運行計画についてです。

今日PTA代表者の6名の皆様にはこの会終了後に少しお残り頂いて、来年度以降の

スクールバスの少し方向性についてお話をさせていただくことをメールでお約束頂いたかと思えます。少し場所を移動していただいて、短時間でとは思っております。

ただこういったスクールバスの課題等が御理解頂いている部分と、なかなかそうでない部分もあろうかと思えますので、少し簡単に御説明だけさせていただければと思えます。お手元に「磐田市立通学の在り方検討委員会に関する提言」という資料が置かれているかと思えます。こちらについては、昨年度、市内全体の方にお集まり頂いて委員会を立ち上げいたしました、12月に委員長から教育長のほうに提言をしていただいたものになります。向陽学府に関わるところについては、一体校を建設していく中で、通学に関する課題というのは容易に見て取れます。1番は通学距離が延びることです。今までの小学校の通学範囲で行っていたところが、今回で言うと3校が一つの学校になっていきますので、必然的に通学距離が延びていく。その中で今までと同じような通学の在り方でよいのかということを中心に議論を進めてきました。結果としては、一体校を建設していく学府については、それぞれの配慮が必要というところでは、非常に昨今、猛暑も続いていますし、市の中心部と南そして北部のほうでは地形とか抱える課題というものが変わってきます。そういった中で向陽学府については二つの配慮をしていこうというところで私たちのほうでこの提言を受けた取組を昨年度の中で大きく変更をかけてきました。まずその変更の一つ目が、元のスクールバスの乗降場所が今までの国や市の基準で定められている中ではなかなか通学に対しての安全が確保できにくいという判断の中から、新たに6ヶ所の乗降場所を設置していくというところをまず考えました。そのことでスクールバスの運行の仕方が非常に複雑になるっていうところはやむを得ないと思っております。子供たちの安全最優先です。もう一つが、新たにですね、保護者の方が200台近く止められるような駐車場を確保していくことを計画して進めております。あわせて8台のスクールバスをやはり敷地内で乗車させてよくそういうことによって、時間のロスとかですねそういったこともなくなってくると考えられますので、職員の車、保護者の車スクールバス、学校の中でそういった交通面が完結していくようにというところは、考えて進めているところです。ただこちらについては、令和8年度で、まだ幾つかの工事が進むところがありますので、こういったところの課題はありながらも、令和8年の中で整備し、進めていく予定です。そういったところの変更をかけておまして、令和8年からのスクールバスどういうふうになっていくかっていうところについては、協会が終わった後保護者の皆様と少し報告もさせていただきたいところがありますので、この後、お時間を頂ければと思えます。

続きまして⑧番の制服体育衣料の現状というところで、こちらについては学校のほうで検討委員会も進んでいます。ほぼ完了しているかと思えます。そちらの報告をお願いしたいと思います。

(委員)

体育衣料のことについては、今使っている中学の体操服と同じものを小学校でも使えるようにしました。保護者には去年、夏頃に方向性を示し、冬頃に決定ということで、全

保護者に通知をしています。今年になって、そのサンプルを用意して、PTA総会、参観会のときに見てもらって、こういうふうになりますということで提示をして御理解頂いているということです。制服については、磐田地区全体で子供たちの意見、それから職員の見解を吸い上げ、それを反映しながら決定しました。今後は中学校のほうでアンケートをそれぞれ保護者に出していますが、ネクタイとカリボンとか希望を聞いているところです。その意見をまた聞きながら、決定していくということになっています。

(事務局)

それでは⑨番学校経営や学校運営に関するところということで、やはり1番は子供たちの学ぶ環境だと思っております。今年度の開校準備委員会の中でも、9月11月頃の中には、来年度の向陽学府の教育計画カリキュラムだったりそういったものが少しずつ見えてきますので、来年、向陽小学校の6学年でどういったことが実現できていきそうなのか、向陽中学校では9年間です。それも令和8年から少しずつ作っていくところもあります。なかなか描いたようにはいかない部分もありますけれども、そういったところをまた学校のほうから、9月11月頃には御提示頂きながら、皆様と一緒に子供がどういったものをどういった環境で学んでいくのか、そういったところを、話を進めていきたいと思っております。

⑩番の地域連携室福祉交流室というところですけども、こちらが何かというところですけども、ちょうど今ある校舎のすぐ東側のところに、放課後児童クラブも入る「みんなの家」を令和8年度に建設をする計画でおります。令和8年度は、今の岩田小向笠小大藤小の放課後児童クラブをそのまま継続して使っていきます。埋蔵文化の調査も含めて、バスロータリーへの動線をつくっていききたいものですから、工事が令和8年開校の中で、放課後児童クラブの建設をしていきます。こちらの名称が「みんなの家」というふうになっています。令和8年開校時からしばらくの間はこのみんなの家については、放課後児童クラブの恐らく利用の子供をたちの数がですね、120人を超えますので、想定しているような部屋全てを児童クラブとして利用するときに令和9年から数年続くかと思っております。またその中で子供の数が減ってきたりとか放課後児童クラブの利用者数が減ってきた中で、先ほど名前があるように地域とつながった、そして福祉も含めた、そういった今までにない学校の機能をといた当初の想定があります。どういった機能を持たせていけるものなのか、非常に地域とつながりのある、小学校が一つになったときにどういった可能性がこの学校に生まれるのかということ、令和8年以降考えていきたい。そういった願いも込めて、みんなの家という名称にしています。まだ具体的にここでどういった形の何を実現するのかというのはまだ見えていないのですけれども、こういったことを子供たちと一緒につくっていくというのがこの学校の一つの良さ、素晴らしい部分になっていくのではないかとこのように思います。ただ、令和8年の放課後児童クラブ利用については、不便をおかけするところは、御理解頂きながら進めていきたいと思っております。

最後⑪番、建設検討会での課題というところ、今年度ですね福田屋内プールの水泳授業の試行を既に進めております。岩田小向笠小大藤小で既に屋内プールのほうの水泳授

業の試行をちょっとしていただきましたので、もしどなたか校長先生よろしければ、行かれた中での感想とかですね、もし子供の声など聞かせ頂ければと思いますけれども、いかがでしょうか。

(委員)

もう3小学校とも1回ずつやりました。学年はそれぞればらばらだったのですけれども、ただ、屋内プールの話については、その出発点はそこじゃなかったというか、当初、大藤小学校のプールを残しておいてとか管理しておいてそれを、そこへ行って水泳授業をやってまた一体校に戻ってくるっていうところからスタートはしていた。ただ、この夏の猛暑、あと外に出て行って授業するわけですので、普通45分の小学生だったら、中学生50分授業だけでやると、もう、行き帰りの時間とかもあるし、せっかく外へ出てくるのだったらやっぱり2時間枠とかというふうにとっておかないともったいないっていうのもあります。そのような予定で行ったのですが、やはり暑い中で、長い時間というのはやっぱり子供たちの健康上安全上、よくないというようなこと。また大藤小学校のプールをどうやって管理をしていくのだったっていうところなど、そのようなところから、この福田の屋内プールも候補として出てきたというところがあります。ですので、福田のプールに決まったということではもちろんなくて、今はその選択肢としていろんな情報を集めているという段階で、この前、向笠小学校はできたのですけれども、子供たちの反応としては、水がきれいだったとか、やっぱり屋外のプールと違って葉っぱが落ちてくるとかそういうこともありませんし、泳ぎやすかったとか楽しかったっていう意見はあります。単純に水泳をするということに関して見れば好条件かなっていうのはあるのですが、一方で貸切り状態をつくることができればいいのですけれども、そうじゃないときにはもちろん一般の人だって来る可能性があるとか、あとは更衣室もですね、それほどやっぱり広くはないというところで、室内、あそこにあるちょっとした体育館のような場所ですよ、そういうところを着替え場所として使ったりした。もちろんそこは鍵がかかるものですから、しっかりとセキュリティはあるのですけれども、そういうところを使ったりということもありました。あとは、学校の屋外のプールっていうのはその外であるだけあってやはり、例えば気温が上昇すれば水が少し減ったりとか、蒸発して減ったりとかそういうのがあるので、多少、本来の水深も少し浅くなっているところがあるのですけれども、室内で管理されているので水深がしっかりあるので、やはりたとえ中学年あたりでも、少し怖さを感じたという声もあつたりしましたので、床に浅くするような板ですよ。それをプール底に沈めて授業をやったというところもあります。あとは、せっかくそういった施設ですのでね、インストラクターの方がいるので、そういった方を何か協力してもらえたらより子供たちの泳ぐ力というものは、短い時間の中でも、今までも学校の職員だけでやったときよりはつくのじゃないかということで、そんなことができたらいいかなというふうに思っています。

(委員)

今の小学校でできることと、3小学校が一体校になって向陽小としてやれることって

いう視点で見えてきたのですけども、先ほどのコインロッカーの件もそうですけども、やっぱりこの中に 20 人で使うことと、学年でやるならば 100 人弱で使うっていうところで、超えなければいけない、検討しなければいけないところっていうのは多々あるのかなと思います。あと、日頃使っていないプールでやっていくっていう子供たちが楽しさやっぱりすごくあるのですけど、反面それこそ水泳の事故っていうのは、子供たちの安心安全というところを第 1 で考えていかなければいけないので、やはりそこら辺の安全対策っていうのについては、もっともっと検討していかなければいけない点はあるのかなっていうのを感じました。

(事務局)

ありがとうございました。また 6 月になると向陽中学校のほうで実際に屋内プールの利用をして検証していく形になっています。

では、令和 4 年から昨年度までの中での進捗状況を少し時間を頂いてお伝えをさせていただきまして何か不明な点とか確認したいところがあれば、出させていただきたいと思えます。よろしく願いいたします。

(委員長)

内容を一つ一ついろんな御意見になると、もう時間がないということで、話し合い等は次回以降になるのじゃないかなと思いますんでね。どうしてもっていう部分がありましたら、質問かな、検討する時間はちょっと今日ありませんので。これだけはお聞きしたいとか、そういうことに限って出していただけるとありがたいと思えます。

特に今年委員になられた中で、今までの経緯をかなり一気に話しましたので、少し不明なところがあればと思えます。

次回以降また発言する機会もありますので、時間を一体校の整備のほうに進めていただいて、今進めている施設整備の内容に移らせていただきます。事務局お願いします。

(事務局)

それでは、資料は現場見学会案内そして図面を配付させていただきました。

まず、現場見学会がございまして、8 月 25 日に予定をしております。こちらについては、この後、地域の方も含めて児童生徒とか先生方にも、希望される方はというところになりますけれども案内します。委員の皆様には、少し目的がございまして、今日の次第の連絡事項のところにありますモックアップ見学会というところがあるのですけれども、簡単に言うとマンションのモデルルームのような、そういったものをつくっていく。この目的としては、今、教頭先生方を中心に、それこそロッカーの形であるとか教室の様子であるとかそういったところの話を進めていただいています。8 月 25 日に 1 部屋、完成させてもらって、そこを委員の皆様と教頭先生も入っていただいで確認をしていきたいと思えます。要は、今まで検討してきた内容の仕様の建物になっているかどうかというところになっていきます。実際にそれを 8 月 25 日の 14 時 30 分から、また改めて委員の皆様には通知等出させていただきますけれども、そちらについてございましてよろしく願いいたします。

次の資料になりますけれども、こちらが新しく校舎として出来上がってくる図面になります。今、新校舎の建築が進んでおりまして、ちょうど3階部分の床のところが出来上がってきました。今コンクリート打ちが進んでおりまして、この後ですね、1月には完成をしていくのですけれども、スタジオ棟の改修、そしてみんなの家建設、さらには東側のバスロータリー駐車場の整備という形で進んでいきます。今、仮設の職員室があるところについても、来年度の4月から解体を始めていき、駐車場の整備を進めていきます。1枚めくっていただくと1階の平面図、2、3階、新校舎が4階建てになりますので、4階の平面図を今回用意させていただきました。今日の中で、こちらの図面を見ていただいて、なかなか読み取るのは非常に難しいのですけれども、こういったお話をさせていただきたいかという、私たちが今まで経験して育ってきた学校のつくりとは非常に大きく変わってきています。そういったところがいろいろなところにも出てきておりまして、次回の開校準備委員会では、工事担当の者にこちらに来させてですね、こういった学校になっていくのか、これからの未来の学校が子供たちの可能性をどう定めていく学校になっていくのかというところのお話をさせていただこうと思います。本当に具体的にこういった設備があるのかとか、今まで聞いたことのない部屋の名前もあります。ラーニングセンターとか、教職員コモンズとか、サテライト職員室がいろんな今までと少し違った学校のつくりになっていきまして、そういったところがこれからの学校だというふうに思っておりますので、今日この資料をお渡しさせていただきます。もし今見ていただく中で少し不明な点があれば、出していただきながら、話を進めたと思いますけれども、すいませんこちらについても非常に情報量が多いので、また少しお時間をとってまとめていただければと思っております。よろしくお願ひします。

(委員長)

はい。校舎のいろんな細かな記述とか、この件については次回、さらに説明者がついて、質問等の時間もあるというようなことです。現場見学会もありますし、御質問等があれば。ちなみに8月に見ていただく部屋はですね2階の1部屋を完成させて実際に見ていただくというふうに予定しております。

(委員)

すいません。図書コーナーになると思うのですが、今の量っていうのは、小中学生分がここに集まるってことだったので、どういう感じなのかっていう、もう一つはここ、以前もお話しするときにちょっと心配されていて、きれいに維持できるのか。砂利とかそういったものの中に入っているときにきれいに管理されるのかっていうところが気になったのですが。その部分ではもう改良されて何かがあるのか、ちょっとそこもお聞きできたら聞きたい。

(事務局)

はい。ありがとうございます。昇降口1階の平面図ですね、昇降口は右手のところあり、そこから入っていただくと、1階の部分にまず、学校図書館、通称ですけどもラーニングセンターという言い方をしております。こちらの蔵書については、現在小学校中学校のほ

うで精選をさせていただいております、こちらに小・中学校の必要な蔵書数を、入れる形で今進めております。あと、恐らく風向きとかで御心配のところもあるのですが、吹き抜けの風が恐らく非常に少ないというところで、図書の保管とかです。そういったものについては、それは問題がないというところで今話のほうは進められているところです。1番ここ顔の学校の顔となっているところになりますのでこの名前のおりですね、昔の学校図書館ではなく、子供たちの学びが充実できる。本読むだけでなくいろんな使い方ができてくる場所になっていくかと思っています。そういったアイデアもまた皆様と一緒に考えていければと思います。ありがとうございます。

(委員長)

あと2人ぐらい、何か御質問あれば、いいですか。

(委員)

バスの関係で、スタジオ棟の北なのか、昇降口までの道がどういうふうになっていくのだろうっていうのがちょっと分からない。

(事務局)

ありがとうございます。当初はですねスタジオ棟の北側にバスのロータリーを設置する想定でおりました。当初はですね当初ここにバスのロータリーを想定しておりましたが、実際に何台走らせる予定だったかという、まずは8台ですね8台のうち、そこで2台なんて言ったらこれが6台はどうするのかというところで残りの6台は今の小学校であったりとか交流センターの近くのところを、借りながらですね、考えておりましたけれどもいろいろなことを検討していく中で、バスについては進入の道をですね確保していきたいというふうに思っています。ですので北側のところを、現在、埋蔵文化の調査を今から進めていきます。約9か月ほどかかりますけれども、それだけ時間をかけてでも、中にバスを入れていく。今の北側のちょうどスタジオ棟の北側のところから、直線で東側のほうにバスを入れていき、敷地内で乗り降りできる情報できる、そういった形に進めていきます。そして保護者の方がそこからは入れるようなスペースにもしていきたいと思っておりますので、それだけの道の確保ですね。その間の工事はかなり大がかりになります。令和8年にやらせていただく工事になります。その間、バスをどのような形で運行させるかという今の西側そして北側にある敷地を二つ、何かしらの形で利用させていただいて、そこでバスの乗降をすることを考えています。南から入ってきた南から促進していくバスがそのまま西側の駐車場、北から南進して行くバスが北側の駐車場をそのまま南へ向かっていけるような、そういったバスルートを確認していきながら安全確保を十分に配慮してバスの運行をしていくようにしていきます。

(委員長)

すいません2、3人なんて言いましたけど、後でPTAの方は別件だか何かの打合せということなものですから、同じような問題が出てきますので、よろしいですか。連絡事項のほうに移らせていただきたいと思います。事務局お願いします。

5 連絡事項

(事務局)

ありがとうございました。それでは、連絡事項のほうに移らせていただきます。次第の下のほうを御確認ください。この後ですね、PTA代表の皆様には、スクールバスの関係等で説明のほうをさせていただくということでお伝えしていますが、保護者のほうに向けまして、スクールバス説明会ということで7月4日6日11日ということで、それぞれ交流センターで説明会、それから個別の相談会を合わせて行うというような形で実施をしていきたいというふうに考えておりますので、御承知を頂ければと思います。また正式なところが出てきましたら、その辺は周知を図りたいと思います。

続きまして次回第17回の開校準備委員会ですけれども、7月22日火曜日、時間は同じ6時半からということで、会場も同じこちらでということでの予定をしたいと思います。また、改めまして1か月ほど前になりましたら、正式に通知のほうをさせていただきたいと思います。

もう1点先ほど説明しました見学会ということで8月25日月曜日に開催します。開校準備委員会の皆様については14時半という時間で予定をさせていただきたいと思います。これも次回の準備委員会の際に詳細のお話をできるかと思っております。

(委員)

一点、今日の資料の扱いについて、図面がありますよね。こういう細かな設計とか、そういう部分について、簡単にコピーしてもいいのかどうか、その辺の扱いについて何かあれば。

(事務局)

そうですね、こちらについては委員を委嘱された皆様の範囲の資料ということですので、基本的に一般にはお出し頂かないようにという形で取扱い頂ければというふうに思います。よろしいでしょうか。取扱いには少し注意してください。